

## 大切な水

山添村立山添中学校 三年

中矢 知沙

毎年、田植えが始まる頃、私は楽しみにしていることがあります。家族と田植えに行くときは、必ずといっていいほど、網とバケツを持っていきます。川をじつとのぞきこむとメダカの尾びれが水面にきらきらと光っているのです。その姿に私と私の弟は目を輝かせながらメダカを追うのです。これが、小さい頃からの私の楽しみでした。

しかし、年々メダカの数が減少してきているように思います。いつもたくさんのメダカが群れをつくって泳いでいた川をのぞいてみると、「こんなじゃなかったのに。」と思うほど、少なくなっています。川をながめながら原因を考えていると、あることに気がつきました。それは、洗剤の泡、油のかたまりが流れてきていることです。いつもは気にしな

かったことが、もしかすると、メダカを苦しめてしまったているのかもしれない。と思うようになったのでした。また、農薬を使っていることも一つの原因ではないかと思うようになったのです。田植えの仕事を手伝っているとき、農薬は必ずといっていいぐらい使います。また、洗剤や油も、それぞれ使うことがあります。これが、私たちの村のきれいな川を汚し始めている大きな原因なのかもしれません。

水の汚れで苦しんでいるのはメダカだけではなくありません。同時に、サワガニや、ホタルも年々少なくなっているように思います。特にホタルの減少は全国的にも問題となつてい

のです。幼い頃、私は母といっしょに夜によく田ん

ぼの近くまでホタルを見に行つたことを覚えて  
います。車のライトでチカチカすると、た  
くさんのホタルがあちらこちらから飛び回  
るのです。あのホタルのほのかな光が田んぼ一  
面に広がっていた光景は忘れられません。  
「ホタルがたくさんいるところは、きれいな  
水があるとよ。とよく母に教えられたこと  
を覚えています。ということ、ホタルの数  
が減少しているのはきれいな水がなくなつて  
きていると言えるのです。ホタルを守るため  
に全国でさまざまな取り組みが行われていま  
す。たとえば、ホタルの生態系や、住みやす  
い環境を守るため、ホタルの移植の指針を採  
択している地域もあるそうです。また、ある  
地域では、ホタルを呼び戻すためにホタルの  
住みやすい環境づくりや配慮したりしている  
ところもあるのです。このような試みが未来  
へとつながっていくことを私は信じています。  
私の住んでいる山添村は、まだそんな心配  
はいりません。しかし油断はできません。水  
は汚そうと思えばいくらでも人間はできます。  
しかし、そこから私たちは、メダカやサワガ  
ニやホタルなどの生き物を守らなければなり

ません。大好きだった、メダカやホタルのい  
るきれいな川を、いつまでもきれいなまま、  
メダカやホタルをいつになっても追いかけら  
れる環境を作っていきたいと思えます。  
そして、私たちの未来の夏は、川には、た  
くさんのメダカの学校があり、夜には、一面  
に、黄色い光が飛び回っていることを願いた  
いと思えます。  
水は、生き物にとって大切な資源です。そ  
んな水を人間の手で汚してはいけません。人  
間の手で守らなければならぬのです。